学校番号	410

令和３年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ｂ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	日本史Ｂ　新訂版（実教出版）						
副教材等	最新日本史図表　初訂版（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

教室での学習と自宅や地域などでの学習とを結合することにより、生徒の興味や探求心を一層喚起し、日本史における基本的な知識の摂取だけではなく、歴史的興味の深まりと他領域への関心の広がりを付与させることのできる学習活動をおこなう。また、基本的な知識を定着させるために、単元毎に復習の時間を設けて、反復の中で学習内容を定着させることを目指す。

２　学習の到達目標

日本の歴史の展開について世界史的な視野に立って総合的に考察させ、日本の伝統と文化についての認識を深めさせる。そのために、我が国の歴史の展開について、政治や経済、社会、文化、国際環境など各時代の特色及びその変遷にかかわる総合的な考察や、それに基づく歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	古代史から近現代史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き、国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	古代から近現代世界各国で起こっている諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	古代史から近現代史を中心とする日本に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	古代史から近現代史を中心とする日本についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述	学習状況の観察 定期考査の結果 ノートやワークシートの記述	学習状況の観察 定期考査の結果 ノートやワークシートの記述	学習状況の観察 定期考査の結果 小テスト結果

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	日本文化のあけぼの	・日本最古の文化 ・縄文時代の社会と文化	○	○	○	○	a:旧石器・縄文時代の人々の生活や社会、文化に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求している。 b:旧石器時代と縄文時代の人々の生活や社会、文化から課題を見つけ、さまざまな要因と関連付けて多面的・多角的に考察している。 c:旧石器時代と縄文時代に関する史料を活用することを通して、人々の生活について追求し、表現することができる。 d:旧石器・縄文時代の人々の生活や社会、文化についての基本的な事項を自然条件の変化や大陸とかかわりと関連付けて理解し、その知識を身につけている。	学習状況の観察 定期考査の結果 ノートやワークシートの記述
	水稲農業の開始と社会生活の進展	・弥生時代の社会と文化 ・小国の分立と邪馬台国 ・ヤマト政権の成立・発展と東アジア ・古墳の成立と発展 ・大陸文化の摂取	○ ○ ○	○	○ ○	○ ○	a:社会や生活の変化、国家形成の過程への関心と課題意識を高め、意欲的に追求している。 b: 社会や生活の変化、国家形成の過程から課題を見つけ、東アジアの状況と関連付けて多面的・多角的に考察している。 c:史料を活用して、社会の変化や国家の形成過程について追求し、表現することができる。 d: 社会や生活の変化、国家形成の過程について基本的な事項を東アジアの状況と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	学習状況の観察 定期考査の結果 ノートやワークシートの記述

	東アジア文化の影響と律令制度の成立	・推古朝の政治と飛鳥文化 ・律令国家成立期の政治と文化 ・律令体制とその実態 ・天平文化	○ ○ ○	 ○ 	 ○ 	○ ○ ○	a:中央集権国家体制実現と律令体制の諸相および飛鳥、白鳳、天平文化の形成の特質に関して関心と課題意識を高め、意欲的に追求している。 b: 中央集権国家体制実現と律令体制の諸相および飛鳥、白鳳、天平文化形成の特質から課題をみつけ、東アジア諸国の動向と関連付けて、多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 中央集権国家体制実現と律令体制の諸相および飛鳥、白鳳、天平文化形成の特質に関する史料を収集し有用な情報を適切に選択し、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:それぞれの文化の諸相、古代の文化について説明できる。	学習状況の観察 定期考査の結果 ノートやワークシートの記述
	摂関政治と国風文化	・平安初期の政治と文化 ・摂関政治と地方の動向 ・国風文化	○ ○	 ○ 	 ○ 	○ ○	a:平安初期の政治と文化、摂関政治の展開と地方の動向、国風文化の形成に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求している。 b: 平安初期の政治と文化、摂関政治の展開と地方の動向、国風文化の形成から課題をみつけ、東アジア世界の動向と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 史料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: 平安初期の政治と文化、摂関政治の展開と地方の動向、国風文化の形成についての基本的な事柄を東アジア世界の動向と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	学習状況の観察 定期考査の結果 ノートやワークシートの記述

	中世社会の成立と文化の新機運	・荘園公領制の形成と武士団 ・院政と平氏政権 ・鎌倉幕府の成立 ・武家政治の展開 ・鎌倉武士と農村生活 ・蒙古襲来と幕府の衰退 ・鎌倉文化	○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○	a:中世社会を支えていく荘園公領制の形成と発展過程、その構造に関して、みずから課題を設定して追求している。 b:源平の争乱から鎌倉幕府の創設、守護・地頭の設置の過程を整理して理解できている。また公家政権との関係にも課題を持って考察し、表現できる。 c: 史料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:中世社会の成立や鎌倉文化に関する美術や建築物などの知識について、諸資料を駆使して理解につとめている。	学習状況の観察 定期考査の結果 ノートやワークシートの記述
	武家社会の展開と室町文化	・南北朝の動乱 ・室町幕府の政治と外交 ・惣村の発展と応仁の乱 ・室町文化 ・戦国時代の領国経営	○ ○	 ○	 ○ ○	 ○	a:建武政権の崩壊、南北朝の動乱から戦国時代へと転換する時代の特質とその社会構造を意欲的に追求しようとしている。 b:日明貿易や日朝貿易など室町幕府の外交の推移、琉球や北方の貿易の繁栄などを当時の東アジア情勢からひろく考察しようとしている。 c:室町期の産業のめざましい発達のなかで台頭する庶民の様子、室町期の文化の特色を絵画や文献、絵画資料などを駆使して多面的に理解している。 d:戦国大名の抗争と領国経営、多様な都市の発達について、基本事項を整理して理解している。	学習状況の観察 定期考査の結果 ノートやワークシートの記述

2学期	幕藩体制の展開と近世の文化	・ヨーロッパ人の来航 ・織豊政権 ・桃山文化 ・幕藩体制の成立 ・鎖国 ・近世の文化と生活	○ ○ ○ ○	 ○ 	○ ○ ○ ○	 ○ 	a:織豊政権の誕生から幕藩体制の確立にいたるまでの政治過程や支配構造、さらには近世初期の文化に対して関心と課題意識を高め、意欲的に追求している。 b:織豊政権から幕藩体制にいたるまでの政治過程や支配構造、さらには近世初期の文化から課題をみつけ、ヨーロッパ諸国との接触やその後の鎖国による対外関係とも関連付けて、多面的・多角的に考察して、表現している。 c: 史料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: 織豊政権から幕藩体制にいたるまでの政治過程や支配構造、さらには近世初期の文化についての基本的な事柄をヨーロッパ諸国との接触と鎖国による対外関係と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	学習状況の観察 定期考査の結果 ノートやワークシートの記述
	幕藩体制の動揺と文化の成熟	・幕府政治の転換 ・経済の発展 ・学芸の発展と元禄文化 ・幕藩体制の動揺と幕政の改革 ・欧米列強の接近と天保の改革 ・江戸中・後期の文化	○ ○ ○	 ○ 	 ○ ○	○ ○ 	a:文治政治への転換と幕政改革の断行、町人文化の形成の特質に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求している。 b:文治政治への転換と幕政改革の断行、町人文化の形成の特質から課題をみつけ、欧米列強のアジアへの進出とその影響、その後の対外関係や支配構造の変化と関連付けて、多面的・多角的に考察している。 c: 史料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: 文治政治への転換と幕政改革の断行、町人文化の形成の特質から課題をみつけ、欧米列強のアジアへの進出とその影響、その後の対外関係や支配構造の変化と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	学習状況の観察 定期考査の結果 ノートやワークシートの記述

	近代への転換	・開国 ・明治維新 ・四民平等と富国強兵 ・初期の外交と国内政治 ・文明開化	○ ○ ○ 	 ○ ○	○ ○	 ○ ○ 	a:幕藩体制の崩壊から中央集権的国家体制の成立にいたる過程について、課題意識を高め、意欲的に追求している。 b: :幕藩体制の崩壊から中央集権的国家体制の成立にいたる過程について、課題をみつけ、世界史的背景と関連付けて多面的・多角的に考察している。 c: 史料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: :幕藩体制の崩壊から中央集権的国家体制の成立にいたる過程について、基本的な事柄を、世界の動向と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	学習状況の観察 定期考査の結果 ノートやワークシートの記述
	近代国家の形成	・民権運動の展開 ・立憲政治への道 ・初期議会と日清戦争 ・政党の進出と日露戦争 ・産業革命と社会の変化 ・近代文化の形成と展開	○ ○ ○	 ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ 	a:世界史的視野を意識しながら、立憲制の成立から日露戦争後までの近代国家の展開過程について、関心と現代に通じる課題意識を高め、意欲的に追求している。 b: :世界史的視野を意識しながら、立憲制の成立から日露戦争後までの近代国家の展開過程について、課題をみつけ、多面的・多角的に考察している。 c: 史料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:立憲制の成立から日露戦争後までの近代国家の展開過程に関する基本的な事柄を、世界の動向と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	学習状況の観察 定期考査の結果 ノートやワークシートの記述

3学期	両大戦間の日本と市民文化	・第一次世界大戦 ・大戦後の内外環境 ・政党政治の展開 ・市民文化の展開	○ ○	○ ○	 ○ ○	○ ○	a:第一次世界大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響や政党政治の成立と市民文化の形成に対する関心と現代に通じる課題意識を高め、意欲的に追求している。 b: 第一次世界大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響や政党政治の成立と市民文化の形成から課題をみつけ、世界の動向と関連付けて多面的・多角的に考察している。 c: 史料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: 第一次世界大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響や政党政治の成立と市民文化の形成についての基本的な事柄を、世界の動向と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	学習状況の観察 定期考査の結果 ノートやワークシートの記述
	十五年戦争と日本	・満州事変 ・日中戦争 ・アジア・太平洋戦争	○	○ ○	○ ○ ○	 ○	a:十五年戦争について、国際社会と国内の政治・経済の動向などと関連付けながら、関心と現代に通じる課題意識を高め、意欲的に追求している。 b: 十五年戦争について、国際社会と国内の政治・経済の動向などと関連付けながら課題をみつけ、アジア諸国との関係にも着目して多面的・多角的に考察している。 c: 史料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:十五年戦争について基本的な事柄を、国際社会と国内の政治・経済の動向と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。	学習状況の観察 定期考査の結果 ノートやワークシートの記述

	現代の日本と新しい文化	・占領と民主主義 ・サンフランシスコ講和会議と安保体制 ・高度成長下の日本 ・経済大国日本と国民生活 ・世界史の転換と日本	 ○ ○	 ○ ○ 	○ ○ 	 ○ ○ ○	a:戦後日本の歩みと世界情勢の推移について関心と課題意識を高め、意欲的に追求している。 b: 戦後日本の歩みと世界情勢の推移について、相互の動きを関連付けて多面的・多角的に考察している。 c: 史料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:戦後日本の歩みと世界情勢の推移についての基本的な事柄を、世界の動向と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	学習状況の観察 定期考査の結果 ノートやワークシートの記述

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画　作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。